

2025 年度 部局 FD 活動報告

現代システム科学域・現代システム科学研究科

<p>1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代システム科学域 FD 会議（実施責任者：学域長），現代システム科学研究科教学アセスメント実施委員会（実施責任者：研究科長）を設置し，アセスメントリストにおける年次点検評価を行っている。 ・現代システム科学域・研究科の教務委員会においてFDに関する議題を取り上げ、教務委員会全体として、学域・研究科のFD活動を推進している。 ・各学類会議にて，FD 関連事項を全教員に共有している。 		
<p>2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2025 年 5 月 22 日	第 1 回現代システム科学研究科交流研究発表会 橋爪太作（人間科学分野）	31 名
2025 年 6 月 19 日	第 2 回現代システム科学研究科交流研究発表会 畑野快（認知行動科学分野）	19 名
2025 年 7 月 17 日	第 3 回現代システム科学研究科交流研究発表会 伊藤嘉余子（社会福祉学分野）	17 名
2025 年 11 月 20 日	第 4 回現代システム科学研究科交流研究発表会 樋口亜瑞佐（臨床心理学分野）	22 名
2025 年 12 月 18 日	第 5 回現代システム科学研究科交流研究発表会 坂東希（人間科学分野）	29 名
2026 年 1 月 22 日	第 6 回現代システム科学研究科交流研究発表会 住田守道（環境共生科学分野）	14 名
<p>3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回 (*月*日) ~について」 「第 2 回…」と記載)	委員の人数
学域教務委員会	毎月 1 回の定例の委員会の中で、学域独自の FDC や PBL についての現状や課題を共有し、その都度必要事項について協議した。	10 名
研究科教学アセスメント実施委員会	第 1 回(6 月 24 日)アセスメントリストの訂正について 第 2 回(10 月 27 日)年次点検評価報告、自己点検について	7 名
学域 FD 会議	第 1 回(6 月 19 日)アセスメントのリストの訂正について 第 2 回(9 月 18 日) アセスメントシートについて 第 3 回(10 月 16 日)、第 4 回(10 月 29 日) 年次点検評価報告、自己点検について	13 名

<p>未来デザイン支援WG</p>	<p>2か月に1回程度のWGの中で、学生の進捗状況報告や課題の共有を行い、その都度必要事項について協議した。また、新カリキュラムの検討やFDC学生のGPA検証を行った。</p> <p>(第1回(4月17日)、第2回(6月19日)、第3回(7月17日)、第4回(9月18日)、第5回(11月20日)、第6回(1月22日))</p>	<p>23名</p>
<p>4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組</p>		
<p>・後期開講の学域共通科目「知識情報システム学概論」「環境社会システム学概論」「教育福祉学概論」「心理学概論」の4科目では、授業の最終回(第15回)において、各科目の担当者が対談形式で講義を行うことで、各学類や各教員の専門性のみにとらわれず、科目間のつながりやカリキュラム全体について意識するように促した。</p> <p>・大学院博士前期課程「現代システム科学特別演習1」「現代システム科学特別演習2」において、他の教員が指導する大学院生のポスター発表を聞き、異なる専門分野の視点からコメントを行うことにより、自らの研究指導や講義を改善するための機会を提供した。</p> <p>・本研究科に在籍中の大学院生に対して「大学院授業内容に関するアンケート」を実施し、その回答を第10回研究科教務委員会(2/26開催)において検討した上で当該分野・当該科目担当教員らへのフィードバックを行なうなど、大学院授業改善のための参考とした。(アンケート実施期間:2025年12月9日~2026年2月20日。)</p>		
<p>5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)</p> <p>・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 (学域 94,研究科 86) 人</p> <p>・所属内の専任教員の人数 (学域 94,研究科 86) 人</p>		
<p>6. その他、追記事項</p>		
<p></p>		